


# 【プログラム5:箱の中は?～正確に伝えよう～】

☆ねらい：ものの大きさや手触りで感じたことを相手に伝えることを通して、しっかり聴くことや適切な表現等のコミュニケーションについて考える。

キーワードの例	適切に話すこと、正確に聴くこと
時間	5分
人数	何人でもできる。
活動形態	全体
準備物	手が入るくらいの箱、箱の中に入れるもの
主な活動	①伝える係（1名）は、箱に手を入れ、箱にあるものの特徴を参加者に伝える。参加者は、ことばのヒントを手がかりに、箱の中のものを考える。 ②振り返りをする。
気を付けること	○箱の中のものはヒントからいろいろ連想できるものがよい。単なるクイズにならないように、生活と結びつけて考えたり、生活を振り返ったりすることが大事である。
方法	<p>1 参加者の中から1人、協力者を募る。</p> <p>2 協力者は、箱の中に手を入れ、箱の中にあるものの特徴を考える。</p> <p>※箱に何が入っているかは、協力者には事前に伝えるが、実際のものは見せない。</p> <p>3 協力者は、中に入っているものの特徴をヒントとして参加者に伝える。 参加者は、協力者のヒントを手がかりに、箱の中のものを考える。</p> <p>※ヒントの数は、初めに決めておき、進行役が協力者・参加者に伝える。</p> <p>4 進行役は、正解を知らせ、協力者に感想を聞く。</p> <p>5 まとめを聞く。</p>
	
	<p>自分の言いたいことを正確に伝えることは、「難しい。」と感じることがある。また、相手が何を言いたいのかを聞くときも同じである。</p> <p>子ども（相手）の話を聞くとき、話し手が何を伝えようとしているか、しっかり受け止めることが大事である。</p>
備考 (アレンジ等)	○箱を2～3個用意し、協力者も2～3人お願いする。協力者それぞれが自分で考えたヒントを参加者へ出し、それを聞いて箱の中のものを考えるやり方もある。
他プログラムとの関連	ステップ（中高生期）編：No6連想ゲーム～考えを広げて～